

1

解答解説のページへ

- (1) 3 次関数 $y = -x^3 + ax^2 + bx$ ($a > 0$) のグラフを C とする。原点を通る直線で、 C とちょうど 2 点を共有するものを 2 本求めよ。
- (2) (1) で求めた直線のうち、傾きの大きい方を l_1 、小さい方を l_2 とする。 C と l_1 が囲む部分の面積を S_1 、 C と l_2 が囲む部分の面積を S_2 とおく。この 2 つの面積比 $S_1 : S_2$ を求めよ。

2

解答解説のページへ

2 辺の長さの比が $1 : a$ ($a > 1$) の長方形がある。この長方形から 1 本の線分によって切るにより正方形を取り去る。残った図形が正方形でなければ、再び同じ要領で正方形を取り去り、残りが正方形でない限りこの操作を続ける。たとえば、 $a = 3$ 、 $a = \frac{3}{2}$ の場合はどちらも 2 回でこの操作は終わる。

- (1) 3 回でこの操作が終わるような a の値をすべて求めよ。
- (2) n 回の操作で終わるような a の値の最大値と最小値を求めよ。

3

解答解説のページへ

ABC において、辺 AB の中点を M、辺 AC の中点を N とする。辺 AB を $x:1-x$ ($0 < x < 1$) の比に内分する点 P と、辺 AC を $y:1-y$ ($0 < y < 1$) の比に内分する点 Q をとり、線分 BQ と線分 CP の交点を R とする。このとき、R が $\triangle AMN$ に含まれるような (x, y) 全体を xy 平面に図示し、その面積を求めよ。(ただし、辺 AB, 辺 AC を $0:1$ の比に内分する点とは、ともに点 A のこととする)

4

解答解説のページへ

関数 $f_n(x)$ ($n = 1, 2, \dots$) を次の漸化式により定める。

$$f_1(x) = x^2, \quad f_{n+1}(x) = f_n(x) + x^3 f_n^{(2)}(x)$$

ただし、 $f_n^{(k)}(x)$ は $f_n(x)$ の第 k 次導関数を表す。

- (1) $f_n(x)$ は $n+1$ 次多項式であることを示し、 x^{n+1} の係数を求めよ。
- (2) $f_n^{(1)}(0)$, $f_n^{(2)}(0)$, $f_n^{(3)}(0)$, $f_n^{(4)}(0)$ を求めよ。